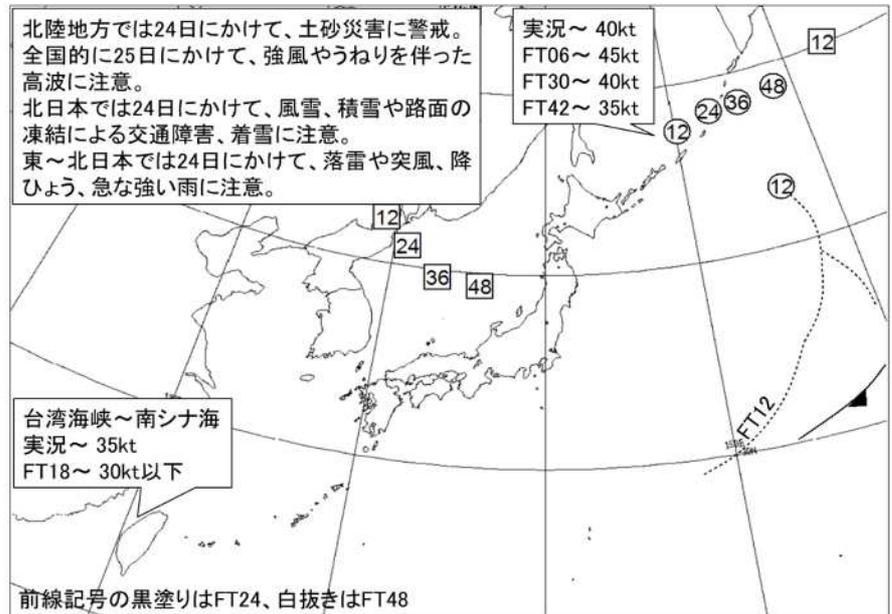


1. 実況上の着目点

① 中国東北区に高気圧があつて、南東に移動。また、千島近海に低気圧があつて、北東進。日本付近は西高東低の冬型の気圧配置となっている。西～北日本の日本海側では、1時間に5mm前後の降水を解析。北陸地方ではこれまでに降った大雨で地盤の緩んでいる所がある。北日本には850hPa-9°C以下の寒気が流入し、東～北日本では山地を中心に、降雪となっている所がある。

② 西高東低の冬型の気圧配置で気圧の傾きが大きくなって

おり、全国的にやや強い風や強い風が吹き、波が高くしけとなっている所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 日本付近は24日にかけて、西高東低の冬型の気圧配置が続く。850hPa-9°C以下の寒気により、北日本を中心に降雪となり、平地でも積雪となる所がある。北日本では24日にかけて、積雪や路面凍結による交通障害、着雪に注意。一方、西～東日本の平地では気温が高く雨となる。北陸地方では、これまでに降った大雨により地盤の緩んでいる所があるため、24日にかけて土砂災害に警戒。また、上空寒気により、大気の状態が不安定となる。東～北日本では24日にかけて、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。

② 2項①の冬型の気圧配置により、気圧の傾きが大きくなり、風が強くなり、波がうねりを伴って高くなりしけとなる所がある。全国的に24日にかけて、強風やうねりを伴った高波に注意。北日本では24日にかけて、風雪に注意。

③ 西～北日本では25日は、日本海から本州付近に移動する1項①の高気圧に覆われ、広く晴れる。一方、高気圧の縁辺では気圧の傾きが大きく、風が強くなり、北寄りの風による風浪とうねりにより、波が高くなる所がある。北日本では25日は、強風や高波に注意。南西諸島と東日本太平洋側では25日は、うねりを伴った高波に注意。

④ 25日は、500hPa5700m付近のトラフに対応した低気圧が、発達しながら黄海を北東進。低気圧と2項③の高気圧との間で気圧の傾きが大きくなり、風が強くなり波が高くなる所がある。西日本では25日は、強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本。量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(18時から24時間)：多い所(100mm以上)はない。

② 波浪(明日まで)：北海道5、東北・北陸・近畿・中国4、関東・伊豆諸島・九州北部・沖縄3m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。